

19 東京法学院大会

〔法学新報〕第二号 明治二十五年十二月二十日

○東京法学院大会

同会は本月十一日午後一時例に由り法学院大講義室に於て開かれたり会する者講師菊池、岡村、山田、伊藤、江木、奥田、高橋等の諸氏を始め院友学生等無慮千五百有余名にて室内立錫の余地なく席定まりて数番の演説討論あり今其演題及弁士の姓名を挙ぐれば

米国年中行事

菊池武夫君

相続に税を課すへし

山田喜之助君

雑説

花井卓藏君

山林原野入会国有論

小町谷純君

法学生の前途

鈴木章太郎君

主客論

中村求馬君

恋

岩岡忠一郎君

等にして黄昏に至り散会を告げ同夜講師諸氏は同院に於て宴会を催され実に当日は非常に盛会を極めたりと云ふ